資料1

道州制ビジョン懇談会区割り基本方針検討専門委員会

広域地域間における経済的自立性と住民の帰属意識

2009年 8月3日

東京大学大学院総合文化研究科

松原　宏

matubara@humgeo.c.u-tokyo.ac.jp

本報告の内容

Ⅰ．道州制の区割り案の変更により、人口、域内総生産等の広域地域間の格差がどのように変わるかをローレンツ曲線およびジニ係数を用いて検討する。

Ⅱ．地域間産業連関表をもとに、広域地域間の自給率や移出入関係の変化を分析する。

Ⅲ．人口移動や「NHK全国県民意識調査」等のデータをもとに、住民意識や行動様式の地域的特徴を明らかにする。

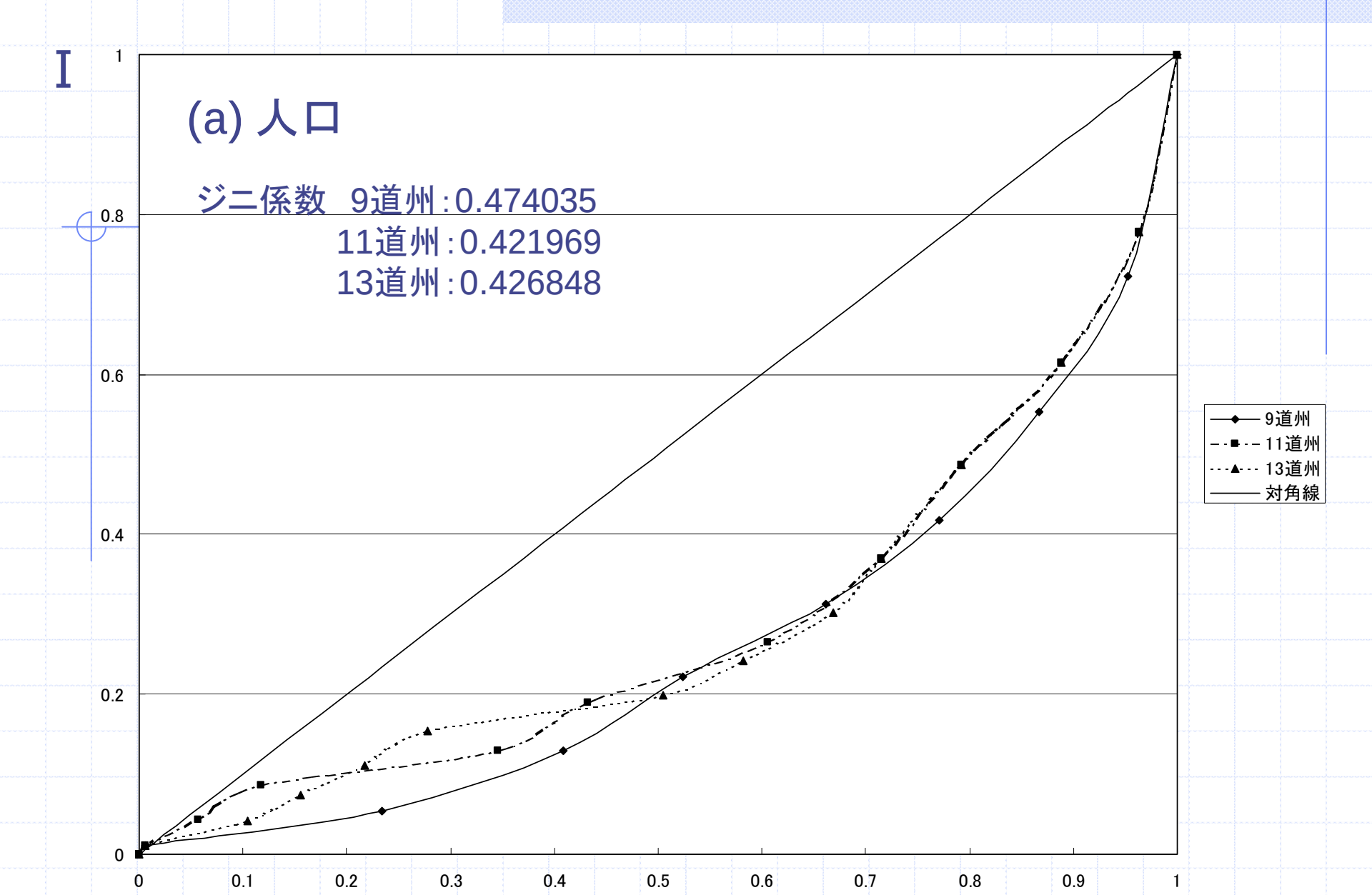


図1(a)：道州制区割り案の変更に伴う地域間格差の変化

出所：『第28次地方制度調査会』区域例資料

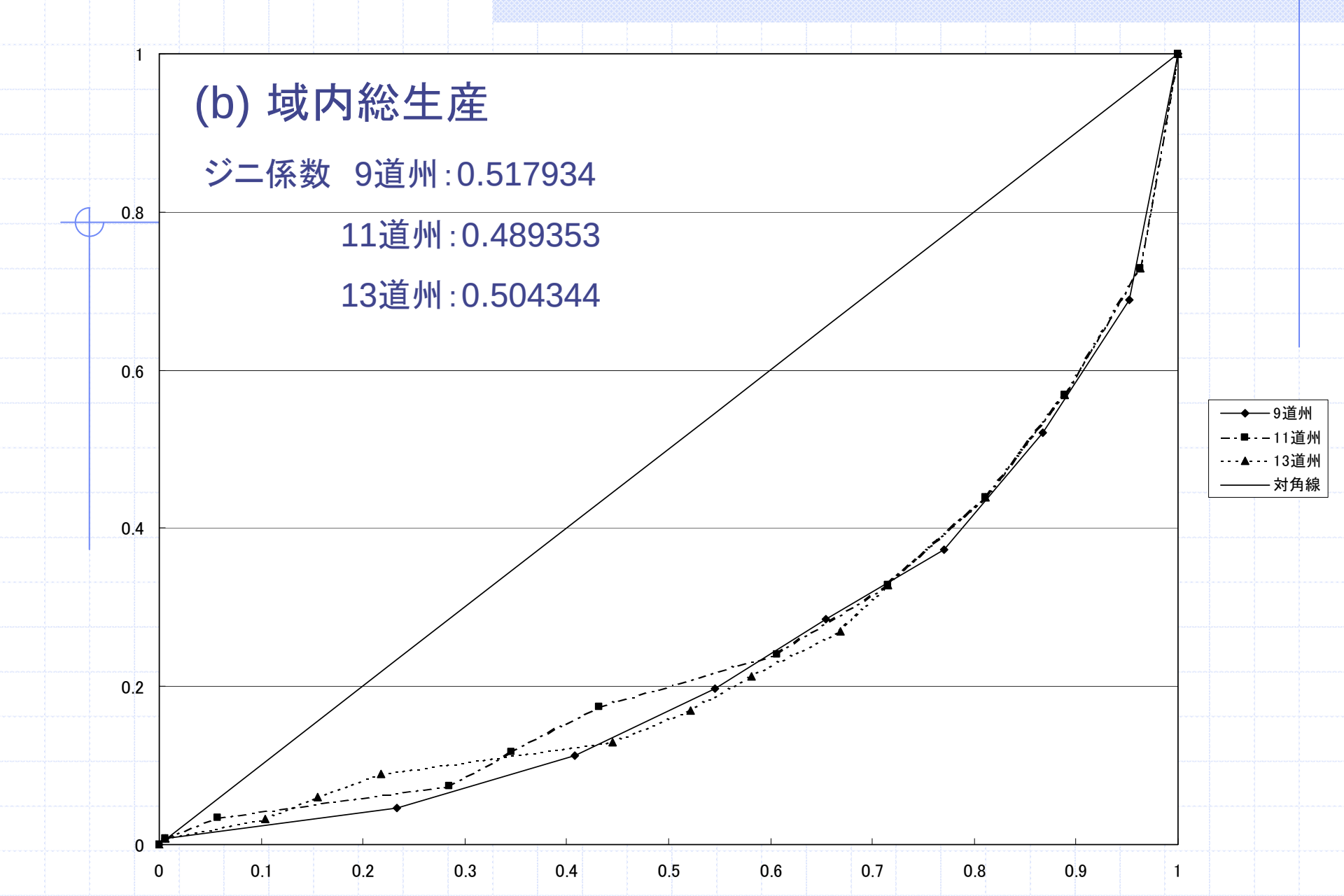
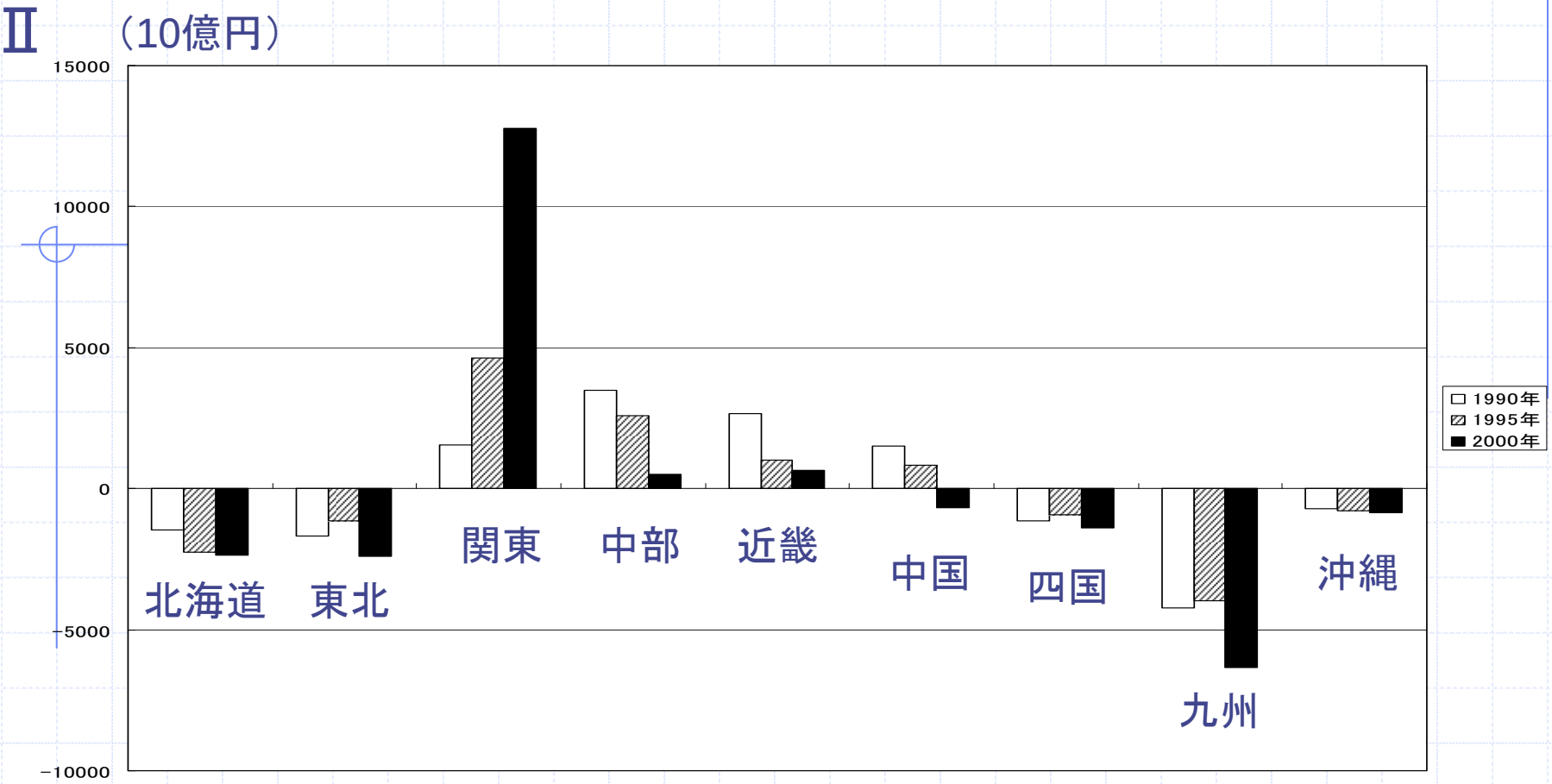


図1(b)：道州制区割り案の変更に伴う地域間格差の変化

出所：『第28次地方制度調査会』区域例資料

Ⅱ



地域区分　東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、
神奈川、新潟、山梨、長野、静岡
中部：富山、石川、岐阜、愛知、三重
近畿：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国：徳島、香川、愛媛、高知
九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

図2：地域間域際収支の推移

注：域際収支＝移出額－移入額
出所：経済産業省『地域間産業連関表－作成結果報告書－』各年版による。

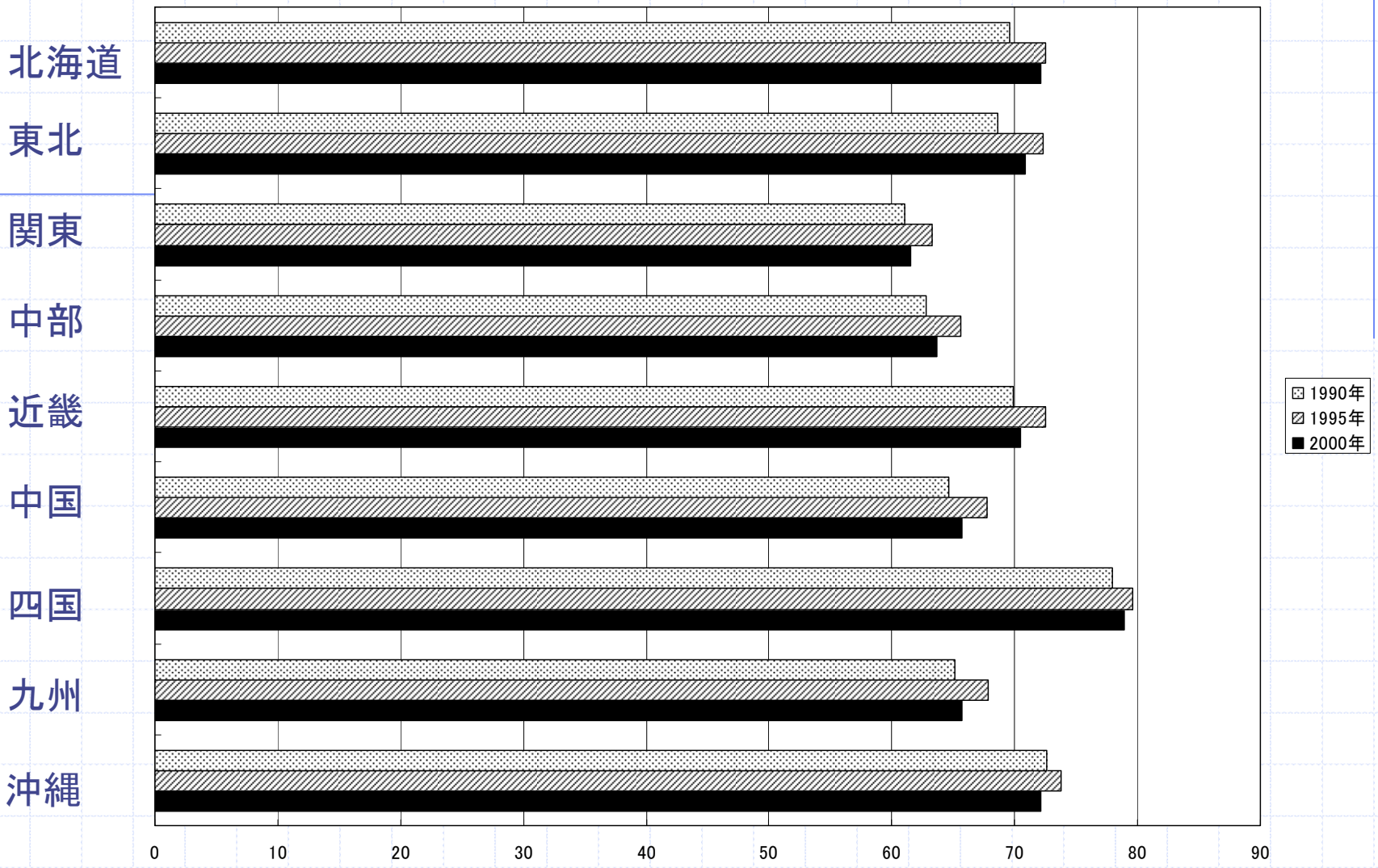


図3：地域別域内自給率の推移

注：域内自給率＝（地域内需要額－移入額－輸入額）/地域内需要額

出所：経済産業省『地域間産業連関表－作成結果報告書－』各年版による。

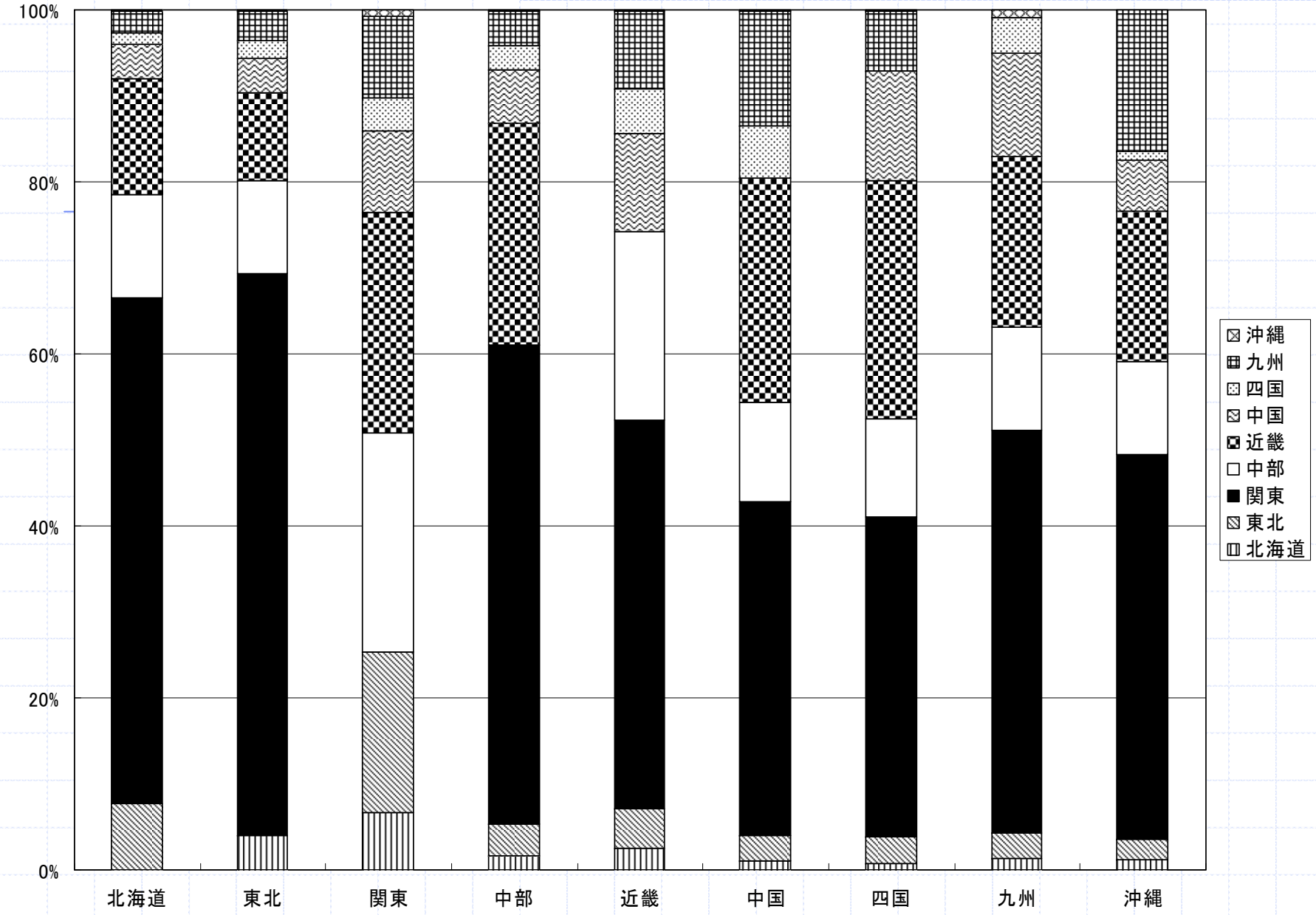


図4：財・サービスの移入先別構成比（2000年）

出所：経済産業省『地域間産業連関表－作成結果報告書－』各年版による。

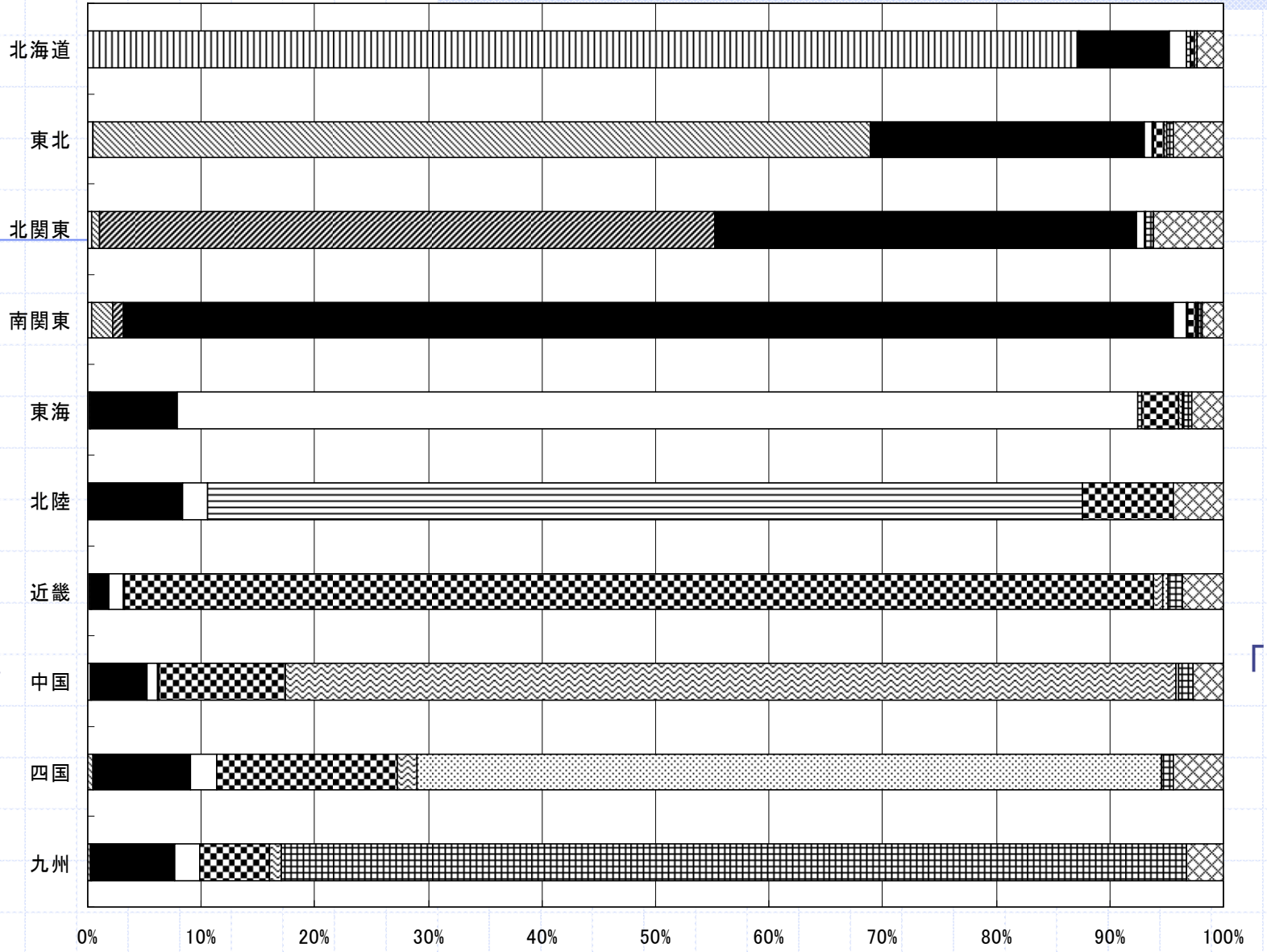


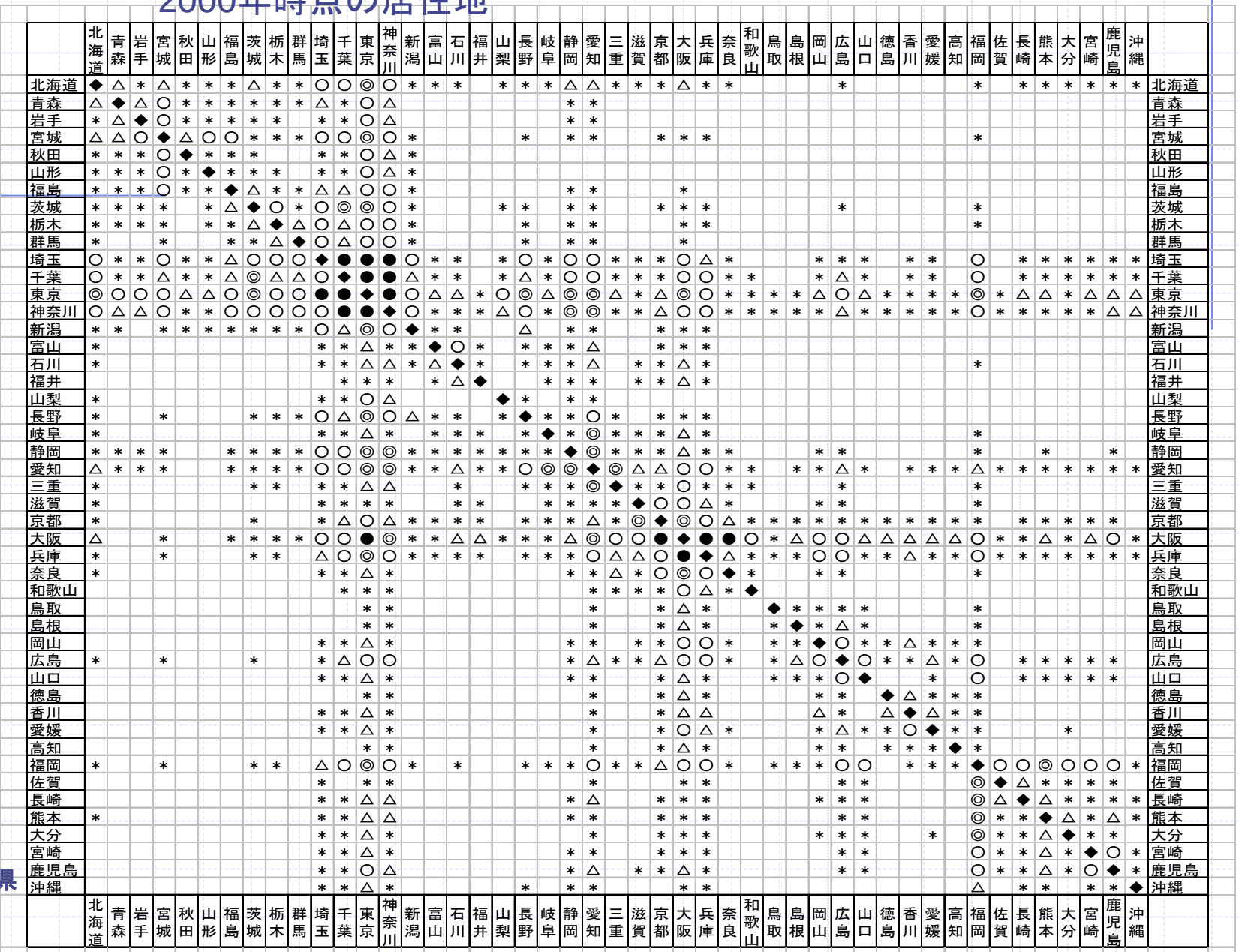
図5：生育地ブロック別にみた「県人県」との一致度

注：「○○県人」としての意識に関するアンケート集計結果をブロック別に再集計

出所：国土庁計画・調整局編(1995)『我が国の人口移動の実態』p.41

2000年時点の居住地

5年前
の居住地



凡例　（人）
＊ 1,000～4,999
△ 5,000～9,999
○ 10,000～24,999
◎ 25,000～49,999
● 50,000～
◆ 当該都道府県

図6：都道府県別人口移動

出所：『国勢調査報告』(2000年）より松原作成

大学の所在地

出身高校の所在地

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	
北海道	●	＊		＊							＊	＊	○	△									＊			＊	＊	＊																			北海道
青森	＊	○	＊	△	＊						＊	＊	△	＊																																	青森
岩手	＊	＊	○	△	＊	＊	＊				＊	＊	△	＊																															岩手
宮城	＊		＊	◎		＊	＊		＊		＊	＊	○	＊												＊																			宮城
秋田	＊	＊	＊	△	△		＊				＊	＊	△	＊	＊																														秋田
山形	＊			△		△	＊			＊	＊	＊	△	＊	＊																														山形
福島				△		＊	○	＊	＊	＊	△	△	○	△	＊																														福島
茨城	＊			＊			＊	○	＊	＊	○	○	○	○								＊				＊																			茨城
栃木	＊			＊		＊	＊	＊	○	△	○	△	○	△	＊																														栃木
群馬				＊				＊	＊	○	○	＊	○	△	＊											＊																			群馬
埼玉	＊							＊	＊	△	●	○	●	○												＊																			埼玉
千葉	＊							△		＊	○	◎	●	○								＊				＊																			千葉
東京	＊			＊				＊		＊	◎	○	●	●					＊			＊	＊			＊	＊																		東京
神奈川	＊							＊			△	△	●	●					＊			＊				＊																			神奈川
新潟	＊			＊			＊	＊	＊	＊	△	＊	○	○	○	＊	＊		＊							＊																			新潟
富山											＊		△	＊	＊	△	△						＊			＊	＊	＊																	富山
石川											＊		△	＊		＊	○	＊					＊			＊	＊	＊																	石川
福井													＊	＊		＊	＊	△					＊			＊	＊	＊																	福井
山梨											＊	＊	○	△					○	＊		＊																						山梨
長野										＊	△	△	○	○	＊		＊		＊	○	＊	＊	△			＊	＊																		長野
岐阜												＊	△	＊		＊	＊	＊			○	＊	○	＊	＊	＊	＊	＊																	岐阜
静岡	＊			＊				＊		＊	△	△	○	○			＊		＊	＊	＊	○	○		＊	△	＊	＊																静岡
愛知	＊							＊			＊	＊	○	△		＊	＊	＊	＊	＊	○	△	●	△	＊	○	＊	＊																愛知
三重													△	＊			＊				＊		○	○	＊	△	△	＊	＊															三重
滋賀													＊				＊				＊		○		○	○	○	＊																滋賀
京都													＊	＊									○		○	◎	○	△	△															京都
大阪	＊										＊		○	＊									○		○	◎	●	◎	○	△			＊							＊				大阪
兵庫	＊										＊		○	＊									△		○	◎	●	＊	＊	＊		△	＊	＊	＊				＊	＊				兵庫
奈良													＊										＊		○	○	△	○																奈良
和歌山													＊												△	○	＊	＊	△															和歌山
鳥取													＊												＊	＊	＊			＊	＊	＊	＊											鳥取
島根													＊												＊	＊	＊			＊	＊	＊	＊	＊							＊				島根
岡山													△	＊									＊		＊	△	△	△			＊	＊	○	△	＊		＊	＊	＊	＊						岡山
広島											＊	＊	○	＊									＊		＊	△	△	△				＊	△	◎	△			＊		△						広島
山口													△	＊												＊	＊	＊					＊	△	○					○							山口
徳島													＊													＊	＊	＊					＊	＊		○	＊	＊	＊								徳島
香川													＊	＊												＊	△	＊					＊	＊		＊	△	＊								香川
愛媛													＊	＊									＊			＊	△	＊					＊	△		＊	＊	○	＊	＊						愛媛
高知													＊	＊												＊	＊	＊					＊			＊		＊	△							高知
福岡											＊	＊	○	△									＊		＊	△	＊	＊					＊	＊	△					●	△	＊	△	＊	＊	＊		福岡
佐賀													＊	＊																											○	△	＊	＊				佐賀
長崎													＊	＊												＊	＊								＊	＊					○	＊	○	＊	＊	＊	＊	長崎
熊本													△	＊												＊	＊														○	＊	＊	○	＊	＊	＊	熊本
大分													＊	＊												＊	＊								＊	＊					○		＊	＊	○	＊		大分
宮崎													＊	＊													＊														△		＊	＊	＊	○	＊	宮崎
鹿児島													△	＊												＊	＊								＊	＊					○		＊	＊	＊	＊	○	鹿児島
沖縄											＊	＊	△	＊													＊													＊						○	沖縄
	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	

凡例　（人）

＊　100～499

△　500～999

○　1，000～4，999

◎　5，000～9，999

●10，000～

図7：大学入学時の人の移動　出所：『学校基本調査』（平成20年度）より松原作成

県外就職先

卒業高校の所在地

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	
北海道												＊	○	＊									△																							北海道
青森				＊							△		●	○									＊																							青森
岩手				△							＊	＊	●	＊																															岩手
宮城													○	＊																															宮城
秋田				＊							＊		●	＊																															秋田
山形				＊									○																															山形
福島				＊				＊			＊		●	＊																															福島
茨城									＊				△																															茨城
栃木										＊			△																															栃木
群馬											＊		＊																															群馬
埼玉													●																															埼玉
千葉								＊					●																															千葉
東京											＊			△																															東京
神奈川													●																															神奈川
新潟													△																															新潟
富山																																											富山
石川																																											石川
福井																																											福井
山梨																																											山梨
長野													＊										＊																						長野
岐阜																							●																						岐阜
静岡													△	＊									＊																						静岡
愛知																						＊																							愛知
三重																							●																						三重
滋賀																																													滋賀
京都																										△																			京都
大阪																											＊																		大阪
兵庫													＊															●																	兵庫
奈良																												○																	奈良
和歌山																												◎																	和歌山
鳥取																												＊																	鳥取
島根																												＊						△											島根
岡山																												＊						△											岡山
広島																																														広島
山口																																		○											山口
徳島																												＊									＊								徳島
香川																																														香川
愛媛																												＊									＊								愛媛
高知																							＊					＊																	高知
福岡								＊					○	＊									○					＊													＊		＊				福岡
佐賀													＊										△					＊													○					佐賀
長崎													△	＊									●					△								＊					◎					長崎
熊本													△										◎					＊													○					熊本
大分													＊										＊																			△					大分
宮崎													○										○					＊													＊			＊		宮崎
鹿児島													●	＊									●					○													△			＊		鹿児島
沖縄													○										△																							沖縄
	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	

凡例　（人）

＊　100～199

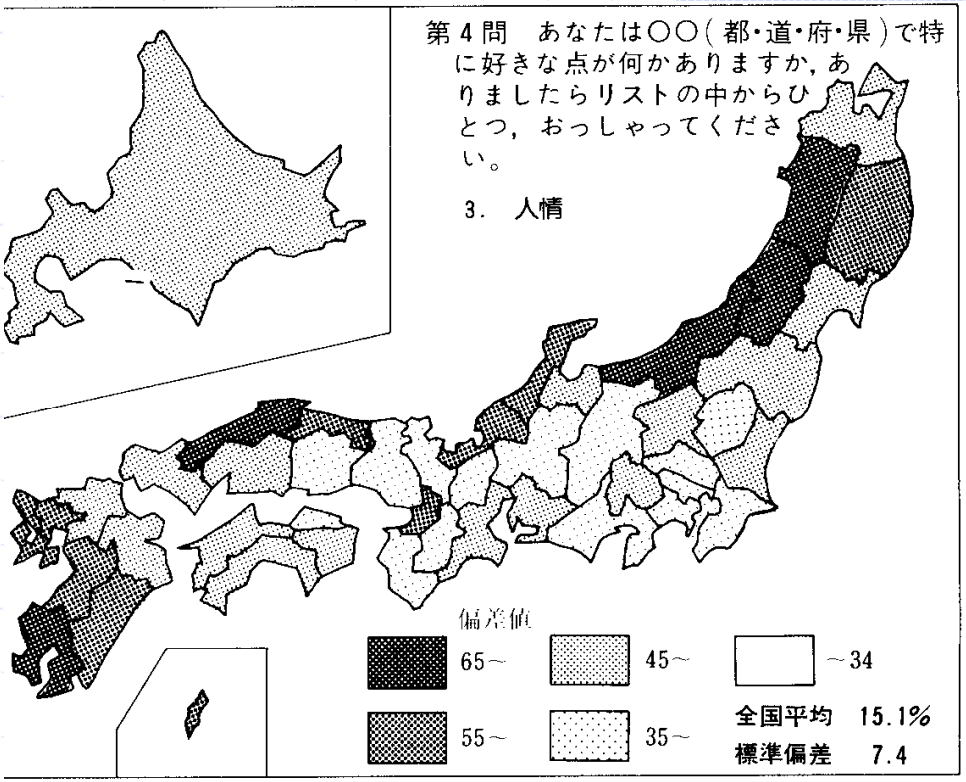
△　200～299

○　300～399

◎　400～499

●　500～

図8：高卒者の県外就職移動　出所：『学校基本調査』（平成20年度）より松原作成



「日本海岸ぞいの各県と九州中南部に、好きな点は人情だという人の多い県が揃っている。･･･大阪で、好きな点として人情をあげる人が多いことも注目される。」(p.74)

「首都圏･東海三県･近畿から山陽道にかけて、大都市とその周辺に県人だと思う人が比較的少ない地域がまとまっている。この地域性は『15歳ごろまでその県で育った』という県出身者の多い県、少ない県の分布と非常によく対応」(pp.74-75)

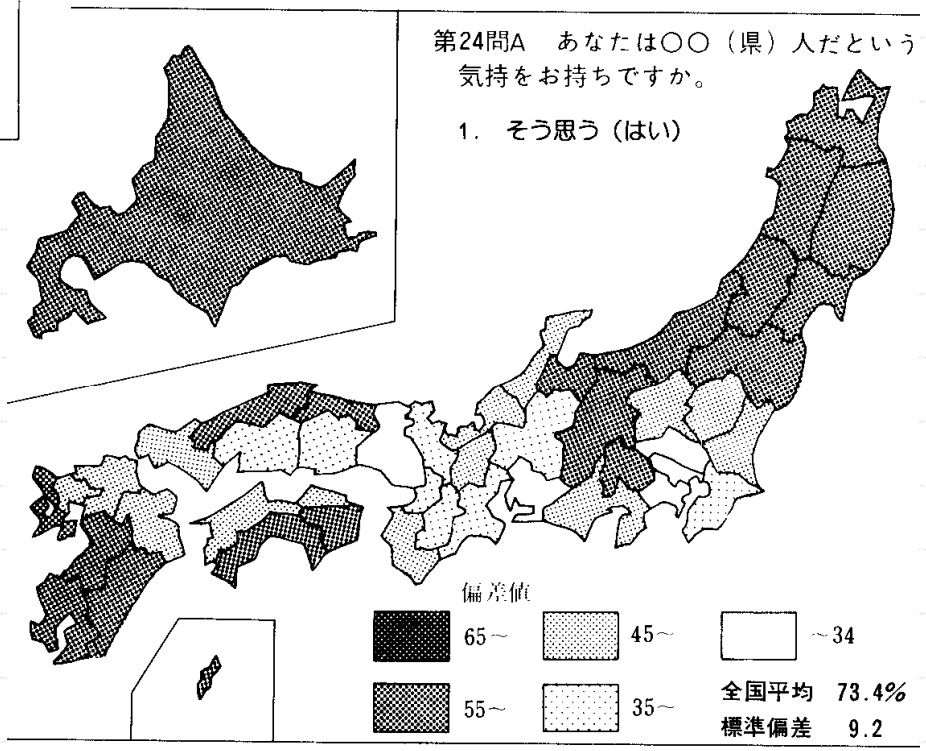
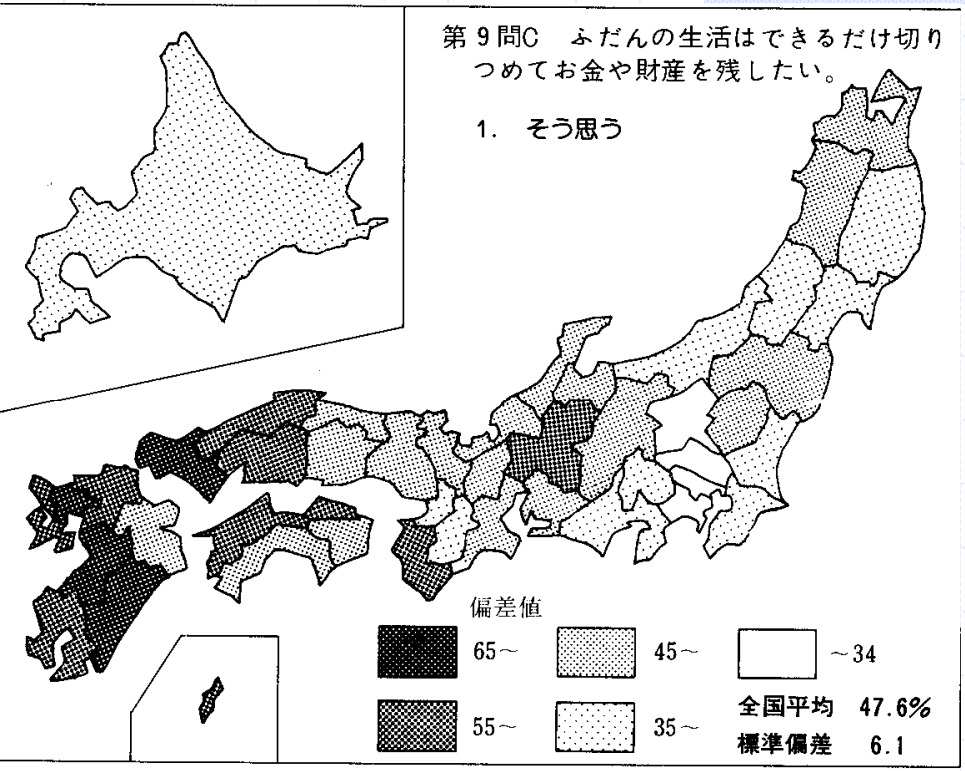


図9：地域への愛着と県人意識

出所：NHK放送世論調査所(1979)

『日本人の県民性』日本放送出版協会



「九州と沖縄、中国地方西部、四国の瀬戸内側に、勤倹貯蓄型の人の多い県が集中している。･･･東･西日本の地域差は明らかである。」(p.39)

「北海道･首都圏･静岡･京阪神地方で少なく、東北から北関東･鳥取･徳島･九州南部･沖縄などで多い。」(p.46)

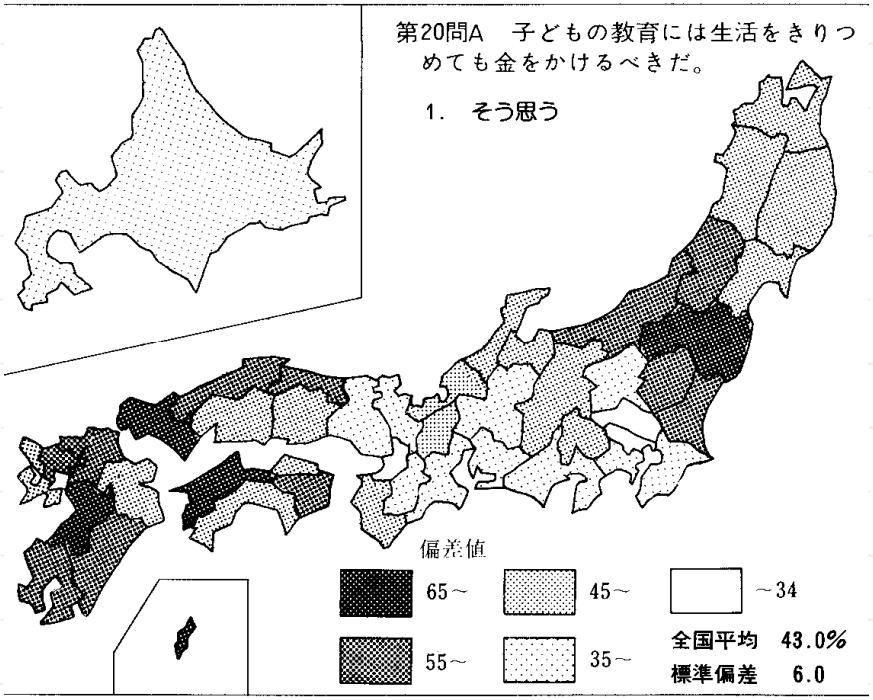
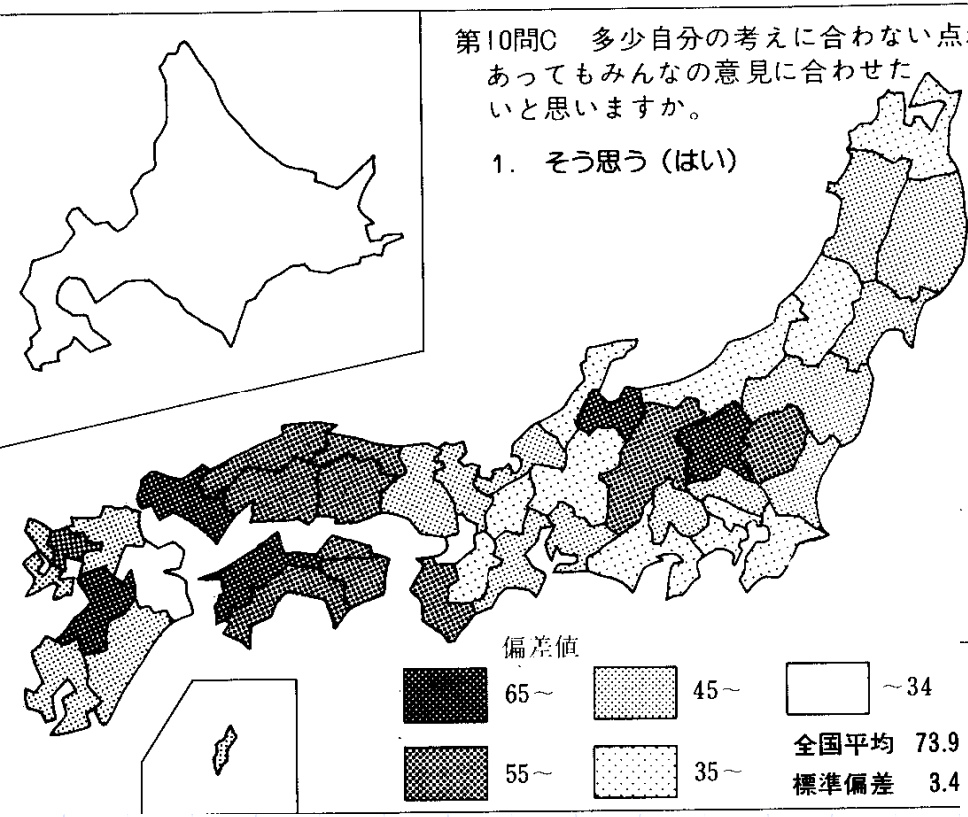


図10:金銭感覚と教育への投資

出所:NHK放送世論調査所(1979)

『日本人の県民性』日本放送出版協会



「中国・四国の全県と、栃木から富山までの地帯で『みんなに合わせたい』と考える人が多いのが目立っている。」(p.40)

「南関東から愛知・信越地方まで、家柄意識のうすい地域がまとまっている。」(p.43)
四国や福島・茨城では家柄意識が強い。

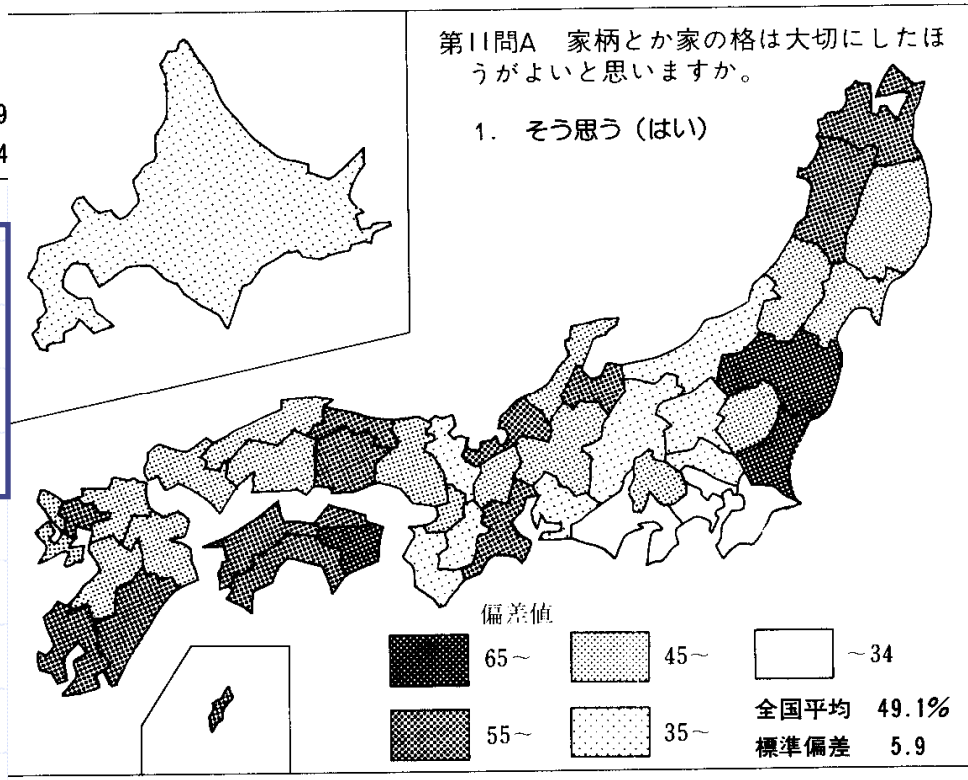
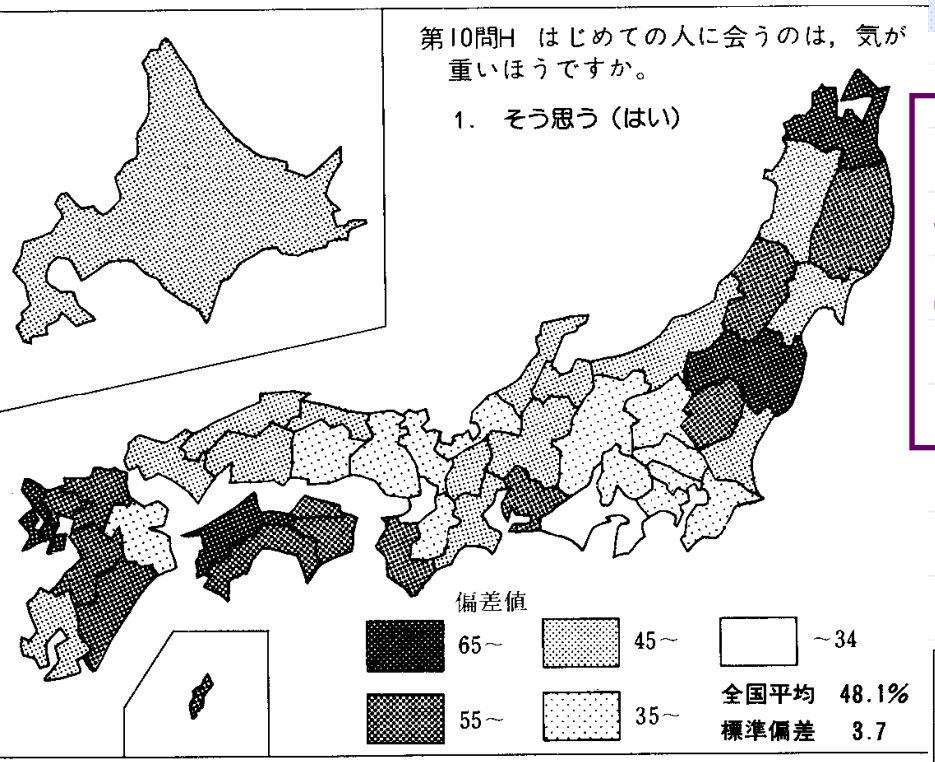
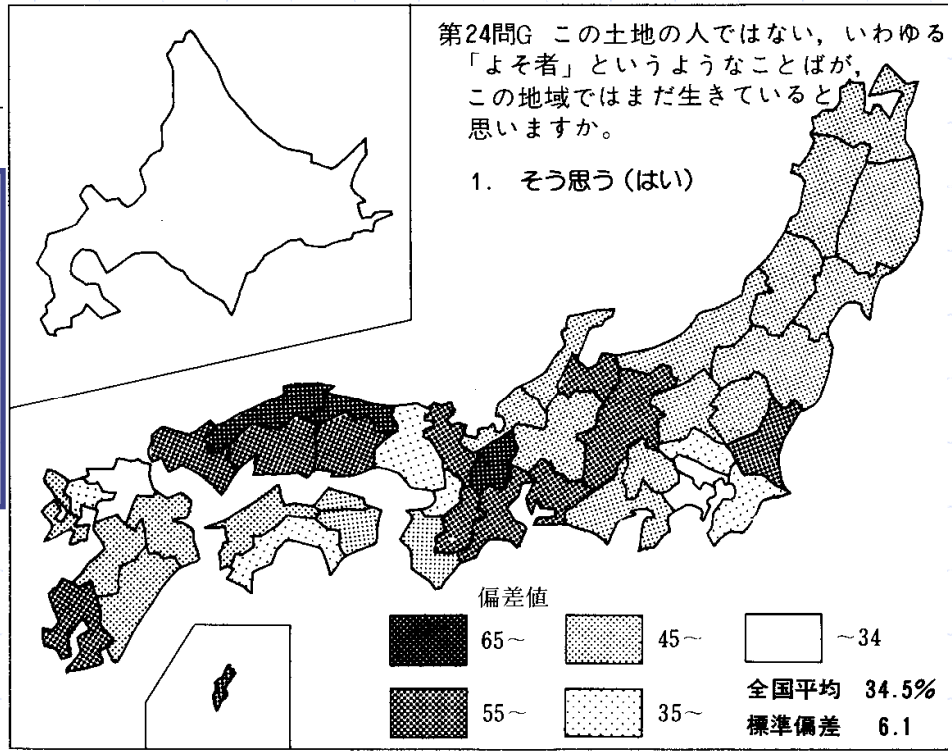


図11：同調性と家柄意識

出所：NHK放送世論調査所(1979)
『日本人の県民性』日本放送出版協会



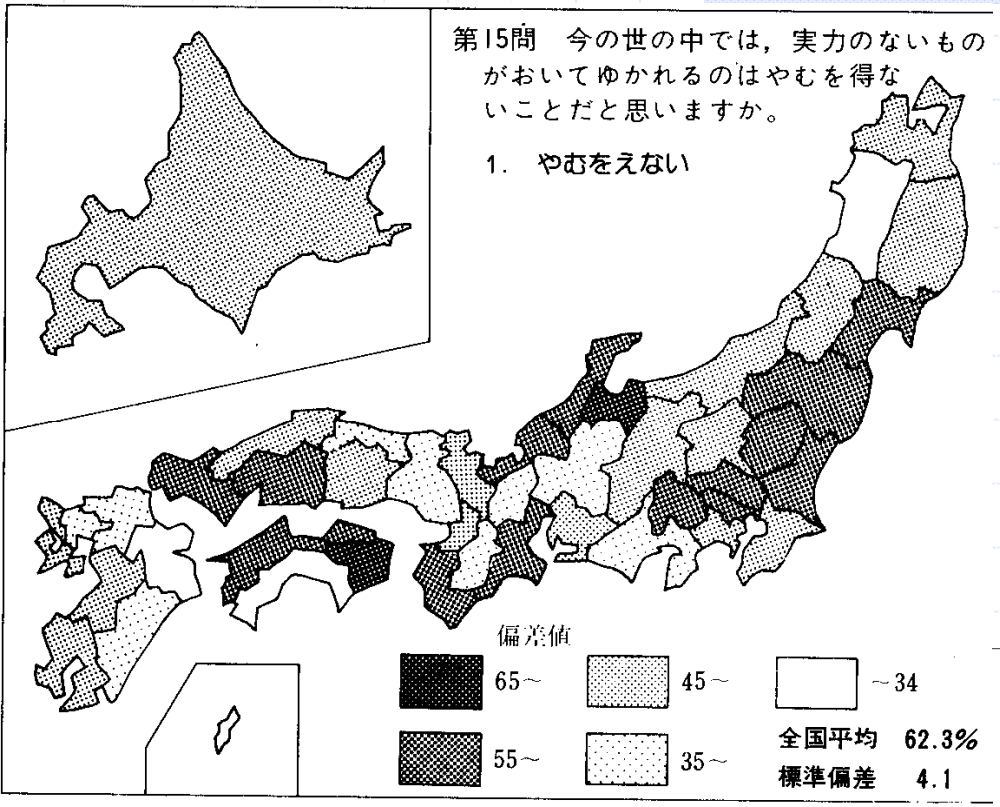
「首都圏から近畿にかけての大都市と
その周辺の県で開放的であるが、そのなかで、
愛知は･･･人見知りの傾向が強く、とくに
開放的な隣県の静岡と対照的である」(p.52)



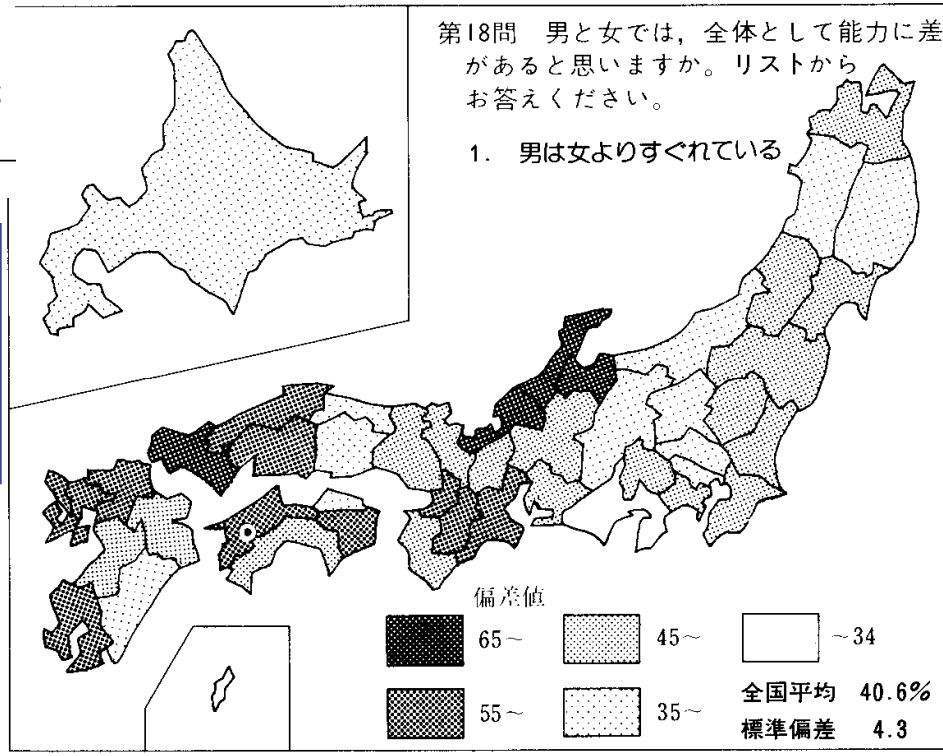
「多かったのは、中国地方全体と
近畿地方東部から三重･愛知･長野
･富山にかけて、それに茨城･鹿児島･
沖縄で、首都圏と阪神地方･福岡･
北海道などで少なかった。」(p.53)

図12：開放性と閉鎖性

出所：NHK放送世論調査所(1979)
『日本人の県民性』日本放送出版協会



「宮城から東京までの太平洋側の地帯と北陸三県・紀伊半島の沿岸、中国・四国の瀬戸内地方に多く、秋田・高知・大分・沖縄で少ない。」(p.63)

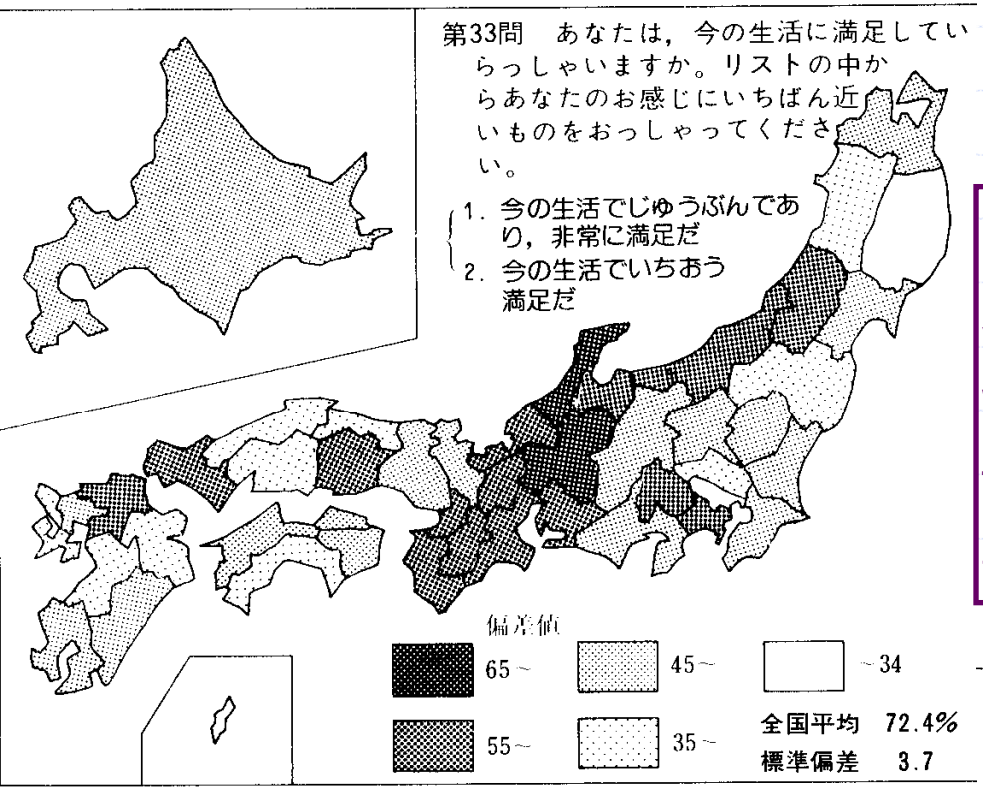


「中部地方から西の西日本にとくに多く、関東地方から東では多い県はひとつもない。北陸三県は、男女の差についても、男女ともそれを認める傾向がとくに強い。」(p.67)

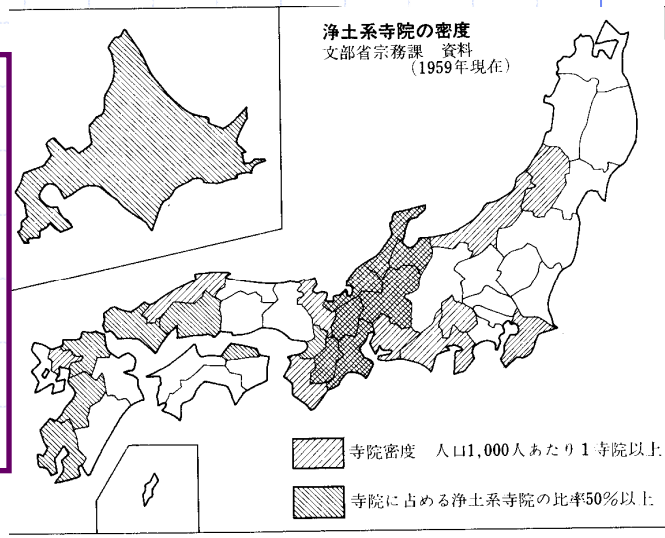
図13:実力主義や男女格差

出所:NHK放送世論調査所(1979)

『日本人の県民性』日本放送出版協会



「近畿から北陸にかけて満足感の高い地帯が貫いている。」



「近畿地方東部から北陸にかけては、九州とならんで仏教を信仰する人の多い地帯である」(p.30)

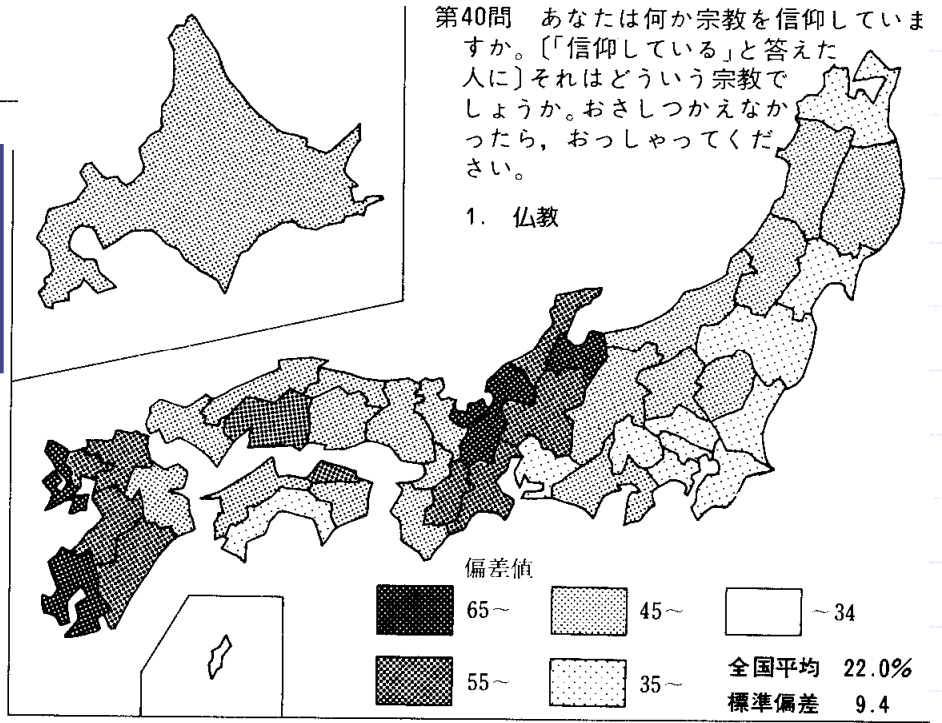


図14：現状肯定度と宗教

出所：NHK放送世論調査所(1979)

『日本人の県民性』日本放送出版協会

小括

Ⅰ. 人口、域内総生産に関して、広域地域間の格差が小さい方が良いと仮定した場合には、3つの区域例のうち、11道州の区割り案が望ましいといえる。

Ⅱ. 地域間の域際収支は、関東と「その他の地方」との格差が拡大する傾向にある。また、関東からの移入割合も全国的に高い状況にある。

Ⅲ. 人口移動に関しても東京の影響力が大きいものの、大阪、愛知、福岡などを中心に広域圏の形成がみられる。住民意識に関しても、人口移動や都市化の影響などにより変わってきていると思われるが、さまざまな側面で独特の地域的特徴がみられる。

参考文献
尾形正之(2005)「平成12年地域産業連関表の特徴及び概要」『経済統計研究』33(1) pp.33-53.